

さぶ ろう

泉三郎さん

の時、両親と広島市に移り、9歳で入市被爆。1.6kmで被爆。母は息子をかばって火傷教員となる。

にも原爆被害者の団体があることを知り、支援する市民の会「広島支部を作り、2000年平和を創り上げていくことの大切さを多める。

れ。
地の広島に転居(広島市尾長町)。

町に行っていたため難を逃れる。7から9日越町で生活。海田高等学校、広島大学に並語教員として広島電機大学附属高等学校。年「韓国の原爆被害者を支援する市民の会」に被爆体験を語る会「ヒロシマへ語り継ぐ」の被爆者の手記集」刊行。
、韓国の朝鮮人原爆犠牲者慰霊碑(仮称)を支援。

んだことを自分 のを持って「バ 渡してほしい。

0 (日)

話を伺い、
動を続け
動の研究
マリ先生を
等につい



スルリ

司会
中村 平

広島大学大学院
グラム・比較日本
日本学や人類学
入びとの歴史経
考えながら研究
住民の関係に
研究。

記録・記憶の更
は験の実相と記
もたらした「平
への影響を考
探究している。

さん収集作成の資

も、関連資料を事前にお配り

判、そして
司えるま
て被爆体験の継承に
たない機会です。

外被爆者裁
りとお話を

動を始め
を任するま
「思う。」

「坂

二勤務。
初代支部長)。

「坂

ほしい。

訳してほ

2022
2/1

第2回
外被爆者問
永さんのお話を伺い、「委員
の「委員会」研究を交
の員と平和(アナム)先生
動(ホ・グ犠牲者慰霊碑
光臨人原爆ヒロシマの課
「これからの」いただきます
「語り合っ

アナム)

比茂(ホ・グ
帝強制動員&平和研究会)

動員被害調査及び国外強
「抗争期強
員犠牲者等
として、証
「動員軌筆や慰

信しま

加ください。



てきた被爆者の姿を見た光景
で列車からお見聞いて、広島市立基町高校。
さんの被爆体験の生徒によって描かれた作品
資料創造委員会

(財)広島平和文化センターより



豊永